

AI創作対話テンプレート: 深い答えを引き出す質問構造


I. キャラクター設計・心理構造を掘り下げたい時

基本形:

「〇〇という性格(または設定)のキャラを作りたいのですが、
彼／彼女の背景や心理をリアルにするために、どんな“内的矛盾”や“心の傷”を与え
ると自然ですか？
また、それが物語のテーマとどんな風に響き合うと深みが出ますか？」

応用例:

- 「“誰にでも優しい”キャラを作りたいが、偽善にならないためにはどんな傷を内包すべきか？」
- 「“正義感が強い”主人公が暴走せずに人間らしさを保つには、どんな恐れや劣等感を背景に置くと良いか？」

 意図: 性格→動機→傷→物語テーマという流れをAIに考えさせる。

II. 世界観・設定構築を深めたい時

基本形:

「この世界では〇〇という設定があります。
この設定が“社会的・文化的・心理的”にどう影響するかを想像すると、どんな世界の
歪みや美しさが生まれると思いますか？」

応用例:

- 「“魔法が使えるのは記憶を代償にする”という世界なら、人々の恋愛や家族観はどう変化するか？」
- 「“不老の種族”が普通に存在する社会で、宗教や芸術はどんな価値観を持つようになるか？」

 意図: 設定を“人間社会の延長”として捉え、文化・倫理・感情に波及させる。

💡 III. テーマや物語構造を掘りたい時

基本形：

「この物語のテーマは〇〇ですが、
このテーマを“直接語らず”に伝えるには、どんな構造（事件／象徴／対比）を使うと
効果的でしょうか？」

応用例：

- 「“孤独とつながり”をテーマにしたい。言葉にせずに伝えるなら、どんな場面設計が有効？」
- 「“赦し”をテーマにした物語で、赦す側と赦される側を対比させる構造にはどんな形がある？」

👉 意図：AIに“ストーリーテリングの設計”を考えさせる。

🧩 IV. 作品全体の「無意識的構造（象徴・欲望）」を分析したい時

基本形：

「この設定／キャラクター／展開を考えると、
作者の無意識的な願望や恐れとして、どんな構造が働いているように見えますか？
また、それを意識的に扱うと物語はどう成熟しますか？」

応用例：

- 「“誰も信じない主人公”を書いている自分には、どんな心理的テーマが隠れていると考えられますか？」
- 「“特別な血筋”の設定を好む傾向は、どんな創作者心理の表れだと考えられますか？」

👉 意図：自分の創作動機をAIに“鏡”として解釈させる。

V. 対話としての使い方(AIを思索パートナー化する)

質問を単発で終わらせず、**AIの回答に対して「問いを継ぎ足す」**ことが肝です。

例:

1. AI:「このキャラは認められたい欲求が強い」
 2. あなた:「その欲求を“満たす形”と“満たされない形”の両方を描くとしたら、どんな展開が考えられますか？」
 3. AI:「満たされない方は復讐、満たされる方は自己受容ですね」
 4. あなた:「その“自己受容”を象徴的に見せる場面は？」
→ 物語構造まで自然に掘り下がる。
-

VI. ショート版:即興思索を促す5つの切り口

観点

質問テンプレート

内面 「このキャラの言動を支配している“恐れ”は何か？」

関係 「この二人の関係が壊れるとしたら、それはどんな“価値観の衝突”が原因か？」

世界 「この世界が人々の精神に与える影響を一言で表すと？」

象徴 「このキャラの持ち物や癖に“象徴”を持たせるとしたら？」

メタ 「この物語は、作者自身のどんな願いを“代行的に叶えている”構造か？」